

映像－１

「学校・アート・出会いプロジェクト」実施メニュー【基本案】

＊ 内容は、事前打合せを行い各学校の状況に応じて変更を加えていきます。

■ 基本情報

ジャンル	演劇 その他（放送・文芸等） 映像		
対象となる学年	小学校 4、5、6 中学校 1、2、3		
対象となる科目（例）	その他（総合学習等）		
実施可能地域	府内全域		
実施回数	3 ～ 4 回	1回の 所要時間	90分
実施可能人数	2クラス程度。クラス毎に実施します。		
実施団体	団体名 一般社団法人タチヨナ 代表者名 小島 剛 担当者名 小島 剛		
連絡先所在地等	〒550-0012 大阪市西区立売堀1丁目4-12 立売堀スクエアビル8F-34 TEL/090-4308-5744（小島） FAX/06-6672-0577 E-mail/kojima6912@gmail.com		
団体、講師のプロフィール	2010年から大阪市内の小学校を対象にした現代芸術の体験プログラムをスタート。2012年から京都府「学校・アート出会いプロジェクト」を受託。2015年に一般社団法人タチヨナ」を設立。2017年以降はこの事業に加えて、継続的に文化庁「文化芸術による子どもの育成事業」受託している。そのほか、地域のアート・センターや施設での子ども向けプログラムに加えて、市民を対象にしたアート・ワークショッププログラムなどを企画・コーディネートしている。 http://touchonart.net		
実施可能な時期（期間）	現状では特に制限は有りません。		

■ 実施内容

対象となる プログラム	体 験
テーマ (タイトル)	映像ワークショップ「映画をつくろう。」（講師：NPO REMO）
趣旨・目標 ねらい	・ 映画のコンテンツ制作プロセスを擬似的に体験しながら、子どもたち自らが映画制作に関わります。 ・ ある人は撮影者となり、ある人は美術スタッフとなり、ある人は出演者となります。そして、タイトルやストーリーの決定から、制作に携わるための役割分担までを、参加者達全員で話し合い、意志決定を進めていきます。そうして個人の仕事＜役割＞を尊重しながら子どもたちの自由な想像力を活かした映画づくりを行います。 ・ 子どもたちが考え、出演し、撮影した作品は、その現場、グループでしか作れないものです。それらは先生方、保護者の方々のみならず、参加した子どもたち自身にとって楽しく、ユニークで、かけがえのない作品となります。
全体計画 (案)	・ フランスの映像作家ミッシェル・ゴンドリーが開発した「映像ワークショップ」を使ったグループワークによる映画づくり。 ・ 題材を設定し、シナリオづくりから、デジタルムービーカメラを使つての撮影までを子どもたち自らがグループ制作します。 ・ 最後はできた作品の上映会をおこない、講師からの講評や子どもたちの感想などを発表します。子ども達だけでできるように、パソコンなどを使用しての編集などは行いません。 （内容例）詳細は学校との打合せで決めてゆきます。 ・ [1日目：映画を知り、シナリオを考える]：映画の定義／役割分担／構造について講師がレクチャーを行い、映画の概要を掴みます。自分たちが撮影したいテーマとあらすじを考えます。 ・ [1-2日目：シナリオを考える]：テーマとあらすじを元に、撮影に必要な構成表/ワークシートを埋めていきます。また必要に応じて小道具などを制作します。 ・ [3日目：撮影]：構成表/ワークシートに基づく撮影をします。 ・ [4日目：上映]：完成作品を全員で鑑賞し、講評します。
実施場所	学内（講義は教室や多目的室。撮影は学内各所）
講師等	講師 3 人 講師名：NPO REMO(久保田テツ)+アシスタント 2 名 スタッフ 2 人
備 考	・ 個別の映画づくりは 6 ～ 8 人程度でのグループワークで実施します。 ・ デジタルムービーカメラは講師が持参します。（6台程度） ・ 学校で必要な設備：プロジェクター等

○講師プロフィール：NPO REMO(NPO 記録と表現とメディアのための組織)

メディアを通じて「知る」「表現する」「話し合う」、3つの視点で活動する非営利組織。2002年大阪市内にて設立以来、メディア・アートなどの表現活動を促すほか、文房具としての映像の普及、映像を囲む新しい場づくりなどを精力的に展開している。このプログラムは京都府内で舞鶴市立高野小学校、志楽小学校、八幡市立有都小学校、南丹市立園部第一小学校などで実施している。